

静岡オーガニック抹茶株式会社（代表取締役 杉谷 道也）

主な輸出先国	アメリカ、ドイツ等（2023年）	輸出実績	1,650百万円（2023年）
対象となる地域	静岡県掛川市・静岡市・藤枝市・島田市・榛原郡川根本町		

輸出産地の概況

- ・ 輸出産地の形成を目的として、静岡県内の複数の農家生産組織と、輸出販売を担う茶商の共同出資により静岡オーガニック抹茶株式会社を設立。
- ・ 各有機茶生産組織より有機碾茶を仕入れ、当社で有機抹茶へ加工し、欧米・アジアを中心に50ヶ国以上へ輸出。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・ 生産グループ全体で8つの碾茶工場と90haの有機茶園(転換中含む)を有している。
- ・ 抹茶加工施設は有機認証の他、FSSC22000、Rainforest Allianceを取得している。

アピールポイント

- ・ 国内外のマーケット需要に応えられる生産体制を構築し、生産者へ安定収入の還元・中山間地域の茶業再生と人材活性化を実現するため、生産者・茶商・当社が三位一体となり有機抹茶のグローバル産地化を図る。



抹茶の原料となる碾茶生産のための被覆作業



碾茶の加工施設



碾茶から抹茶へ加工する施設



開発した輸出向け新商品